

S NMP ユニット

操作説明書

(Ver. 4.00)

2006年6月16日 (1.0版)

大 電 株 式 会 社
ネットデバイス開発室

この操作説明書について

本書では SNMP モジュールのソフトウェア操作について説明しています。
取り扱い時の注意や組み込み・設置方法等に関するハードウェアについては別紙のラックマウント用取扱説明書に記載していますので参照ください。

◆目次

1. 各部名称	1
2. MIB定義ファイルのロード	2
3. 設定操作（コンソール操作）	5
(1) ログイン	8
(2) メニュー	9
(3) 【1. 管理用ポートのパラメータ設定】	10
(4) 【2. SNMPマネージャと認証の登録】	11
(5) 【3. プライベートMIBトラップの設定】	12
(6) 【4. メディアコンバータ設定】	26
(7) 【5. ポート・電源・ファン状態の表示】	29
(8) 【6. 履歴情報の出力】	31
(9) 【7. ソフトウェアリセット・設定の初期化】	34
(10) 【初期化メニュー】	35
4. ファームウェアのアップデート	36
5. 4800, 5810, 6800, 6810 をご使用の方へ	36
6. 資料	37
(1) 対応する標準MIBの一覧	37
(2) プライベートMIBの一覧	37
(3) Specific コード一覧	40
(4) シリアルポートのピン配列	42
(5) 出荷時の設定	42

1. 各部名称

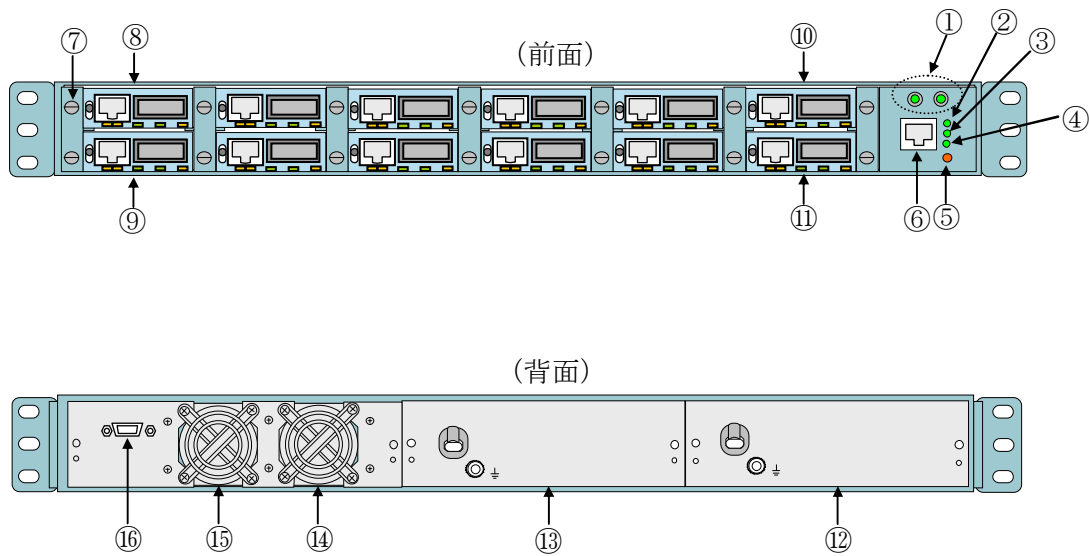


図 1-1 前面・背面図

表 1-1 各部の名称

番号	名 称	番号	名 称
①	電源監視 LED	⑨	MC ユニット 2
②	管理ユニット (パ ワー LED)	⑩	MC ユニット 11
③	管理ユニット (Link/ActiveLED)	⑪	MC ユニット 12
④	管理ユニット (初期化中ステータス LED)	⑫	電源ユニット 1 (LED 表示 (L) 側) (SNMP 時ユニット番号 1)
⑤	管理ユニット (リセットスイッチ)	⑬	電源ユニット 2 (LED 表示 (R) 側) (SNMP 時ユニット番号 2)
⑥	管理用ポート	⑭	ファン 1 (SNMP 時ユニット番号 1)
⑦	ロックネジ	⑮	ファン 2 (SNMP 時ユニット番号 2)
⑧	MC ユニット 1	⑯	シリアルポート

2. MIB定義ファイルのロード

(1) 概要

「SNMP ユニット」ではSNMPでメディアコンバータの状態を把握するためのプライベートMIBを実装しています。「OpenView™」などのSNMPマネージャで「SNMP ユニット」のプライベートMIBを参照する際は、事前にMIB定義ファイルをロードしておく必要があります。以下に Windows 版の「OpenView™」でのロード手順を示します。他のSNMPマネージャでは、該当のSNMPマネージャのマニュアルを参考にして下さい。

(2) 「OpenView™」でのMIB定義ファイルのロード

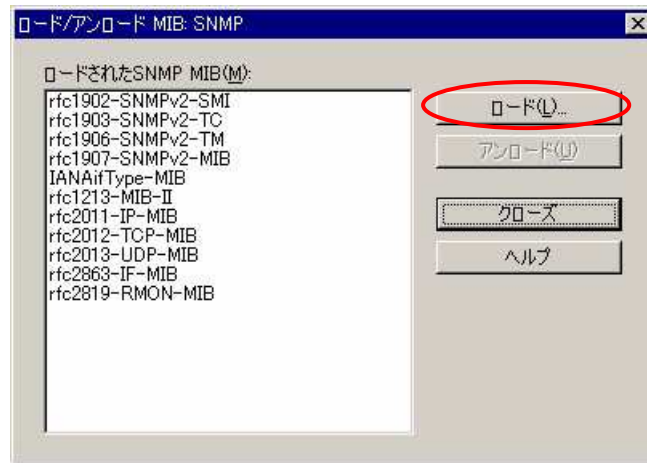
「OpenView™」ではネットワークノードマネージャ（NNM）で以下の手順でMIB定義ファイルをロードできます。

<NNMによるMIB定義ファイルのロード方法>

1. 付属のフロッピーディスク中の「DAIDEN_MIB」フォルダを、ハードディスク内の適当な場所にコピーします
2. NNMを起動すると下のNNM画面1が表示されますので、「オプション」タブから「MIBのロード/アンロード」を選びます。次に、NNM画面2が表示されますので、「ロード」を選択し、先ほどコピーした「DAIDEN_MIB」フォルダを開いて、「DAIDEN_MC* *.*」ファイルを選択します。



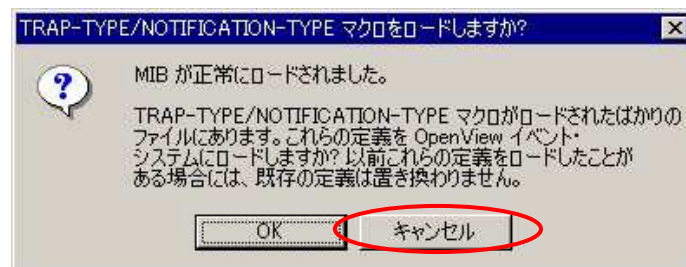
NNM 画面 1 MIB のロード/アンロード



NNM 画面 2 MIB のロード/アンロード

3. MIB 定義ファイルのロードが正常に終了したら、NNM 画面 3 が表示され、トラップ定義ファイルを更新するかどうかを問い合わせるウィンドウが開きますので、「キャンセル」を選択します。

以上の作業により、MIB ブラウザで MIB 変数名や内容を表示できるようになります。



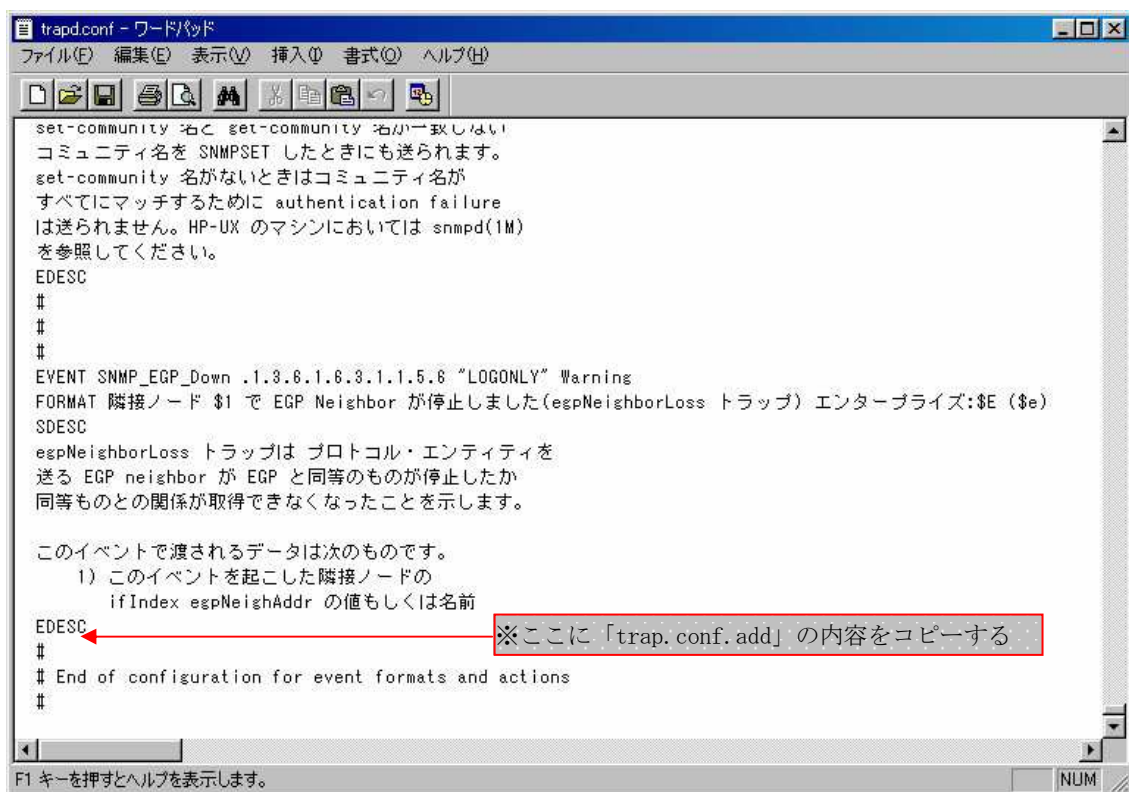
NNM 画面 3 トラップ定義ファイルの更新

(3) トラップ定義ファイルの書き換え

「OpenView™」ではトラップ定義ファイルによって、アラーム発生時の動作を設定できるようになっています。MIB 定義ファイルをロードした時にトラップ定義ファイルを更新しても、「SNMP ユニット」からのトラップに対してアラームウィンドウには何も表示されません。アラームウィンドウにトラップ内容を表示させるために、以下の手順でトラップ定義ファイルを書き換えます。

<トラップ定義ファイルのコピー方法>

1. 「OpenView™」をインストールしているフォルダ内に「NNM」フォルダがありさらにその中の「conf」フォルダ中の「japanese_japan***」フォルダ (***)以下は環境により異なります) に日本語用の「trap.conf」ファイルがあります。適当な手段で「trap.conf」ファイルのバックアップを作成しておき、「notepad」等のエディタを起動して「trap.conf」ファイルを開きます。
2. 「DAIDEN_MIB」フォルダ内の「trap.conf.add」ファイルを開いて、先ほどの「trap.conf」ファイルの最後の「EDESC」の後に、「trap.conf.add」ファイルの内容をコピーして付け加え、上書き保存します。



NNM 画面 4 トラップ定義ファイルの更新

もしトラップ定義ファイルを更新済みの場合は、「trap.conf.add」ファイルで定義している項目と同じ部分を「trap.conf」から削除しておいてから、上記手順を行って下さい。

以上の作業により「SNMP ユニット」のトラップは「ステータスアラーム」として表示されるようになります。別のアラーム種別に変える場合は、アラームウィンドウのイベント設定でカスタマイズして下さい。

3. 設定操作（コンソール操作）

各種設定は管理用ポートかシリアルポートを通して行います。

管理用ポートを使う場合は、パソコンなどから「Telnet」を起動して接続して下さい。

「Telnet」の起動方法や接続操作は、ソフトの説明書やヘルプファイルに従って下さい。

また端末エミュレーションの設定が出来る場合は「VT-100」を選んで下さい。Windows™ の「Telnet」コマンドのデフォルトは「VT-100」の漢字モードになっています。

シリアルポートを使う場合は「HyperTerminal™」などの端末エミュレーションソフトを起動して接続して下さい。エミュレーションソフトの設定は以下の表 3-1、表 3-2 を参考にして下さい。接続例としてハイパーターミナルによる接続方法を次項に示します。

なお設定操作の画面には漢字が表示されますが、入力は全て「半角」で行います。

表 3-1 シリアルポート通信設定

項目	設定
伝送速度	19,200bps
同期方式	非同期（調歩同期）
データ長	8bit/char
パリティ	なし
ストップビット	2bit（他の設定でも可）
フロー制御	CTS-RTS（ハードウェア）
ピン配列	D T E

表 3-2 端末エミュレーション設定

項目	設定
制御コード	VT-100
文字コード（8bit）	ASCII
漢字コード	Shift-JIS
ローカルエコー	なし
改行コード	CR+LF
バックスペースコード	Ctrl+H

表 3-3 主なキー操作

キー	動作
Enter	次項へのカーソル移動／入力確定
Tab	次項へのカーソル移動
BackSpace	直前入力文字の削除
Esc	最下行へのカーソル移動／キャンセル

※カーソルキーでのカーソル移動は出来ません。

< 「HyperTerminal™」による接続方法 (WINDOWS98™ の場合) >

1. [スタート] メニューから[プログラム]->[アクセサリ]->[通信]->[ハイパーターミナル]を選択すると、[Hyper Terminal]フォルダが開かれます。次に、そのフォルダ内にある[HYPERTRM.EXE]ファイルをダブルクリックします。もしくは、[スタート] メニューの[ファイル名を指定して実行]を選択し、名前欄に HYPERTRM と入力して OK をクリックします。いずれの方法でも起動できない場合は、「HyperTerminal™」がインストールされていない可能性がありますので、「HyperTerminal™」をインストールしてからご使用下さい。
2. 「HyperTerminal™」が起動されると[接続の設定]画面が表示されますので任意の名前とアイコンを入力し、[OK]をクリックしてください。



HyperTerminal™ 画面 1 [接続の設定]

3. 次に以下の画面が表示されますので、最下欄の[接続方法]でご使用のシリアルポートを選択します。



HyperTerminal™ 画面 2 [接続の設定]

4. 次に、シリアル通信のプロパティ設定画面が表示されますので、表 3-1 を参考にして設定を行ってください。



HyperTerminal™ 画面 3 [通信のプロパティ設定]

5. 以上で設定は終了です。「リターン」キーを押すと「SNMP ユニット」のログイン画面（次項の画面 1）が表示されます。

(1) ログイン

SNMP ユニット ユーティリティ V*,**

VT100 ShiftJIS の設定で正しく表示します。

パスワードを入力して下さい(入力後 Enter)

Pass word []

画面 1 ログイン

シリアルポート経由では、接続後「Enter」キーを押すとログイン画面が出ます。

管理用ポート経由では、接続後すぐにログイン画面が出ます。

前回設定したパスワードを入力して「Enter」キーを押して下さい。

「SNMP ユニット」では、ログインできるパスワードは、ユーザーの設定することのできる「ユーザーパスワード」と、パスワードを忘れた際などに設定の初期化のみ行うことのできる「初期化パスワード」の2つがあります。

出荷時のユーザーパスワード初期値は「test」です。

初期化パスワードは「DAIDEN init」で変更することは出来ません。

「ユーザーパスワード」でログインした場合は通常のメニュー画面（画面2）へ移動し、「初期化パスワード」でログインした場合は設定初期化モード画面（画面30）へ移動します。

パスワード入力に3回失敗すると、シリアルポート経由では接続後の状態に戻ります。

管理用ポート経由ではTelnetのコネクションが切断されます。

トラップ送出設定で「ログイン認証失敗」の項目を「送出」に設定していると、パスワード入力を3回失敗したときに登録したSNMPマネージャに対してログイン認証失敗のトラップが発生します。

(2) メニュー

SNMP ユニット ユーティリティ V*,**	
モード選択	項目を選んで、数字を入力してください。
1. 管理用ポートのパラメータ設定	
2. SNMP マネージャと認証の登録	
3. プライベート MIB トラップの設定	
4. ポート名・メディアコンバータ SW 設定	
5. ポート状態・電源・ファンの状態表示	
6. 履歴情報の出力	
7. ソフトウェアリセット・設定の初期化	
8. 接続終了	

画面 2 メインメニュー

<設定画面説明>

ユーザーパスワードでログインすると、上記のメニュー画面が表示されます。
必要な項目を選択して番号を入力して下さい。「Enter」キーを押す必要はありません。

<設定項目説明>

- 【1. 管理用ポートのパラメータ設定】
パスワードや「SNMP ユニット」の IP アドレスなどを設定します。
- 【2. SNMP マネージャと認証の登録】
SNMP マネージャの IP アドレスやコミュニティ名などを設定します。
- 【3. プライベート MIB トラップの設定】
各種のトラップを送出する条件などを設定します。
- 【4. ポート名・メディアコンバータ SW 設定】
ポート名、及びメディアコンバータの SW モードの設定を行います。
- 【5. ポート・電源・ファン状態の表示】
メディアコンバータのポート状態、ファン状態、電源状態を一覧表示します。
- 【6. 履歴情報の出力】
各種の状態変化履歴を表示したりトラップ出力したりします。
- 【7. ソフトウェアリセット・設定の初期化】
「SNMP ユニット」のソフトウェアリセットや設定を初期化することが出来ます。
- 【8. 接続終了】
コンソール操作を終了します。

【1. 管理用ポートのパラメータ設定】

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
管理用ポートのパラメータ設定	
パスワード	[test]
I P アドレス	[172].[20].[1].[201]
サブネットマスク	[255].[255].[0].[0]
デフォルトゲートウェイ	[172].[20].[1].[254]
Telnet (TCP) の無通信接続タイムアウト (分単位 1~999)	[60]
オートネゴシエーション [無効=0 / 有効=1]	[1]
速度 [10M=0 / 100M=1]	[1]
全/半二重 [半二重=0 / 全二重=1]	[1]
管理用ポートの自動初期化 [無効=0 / 有効=1]	[0]
MC ポートへのアクセス [無効=0 / 有効=1]	[1]
設定終了-'E', キャンセル-'C' []	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 3 管理用ポート設定

<設定項目説明>

【パスワード】

設定操作でログインするためのパスワードを設定します。

【I P アドレス】【サブネットマスク】【デフォルトゲートウェイ】

「SNMP ユニット」の管理用ポートに対する設定です。

サブネットが異なる端末に対して通信を開始するとき（SNMP のトラップを出すとき）には、デフォルトゲートウェイを経由して行います。

【Telnet (TCP) の無通信接続タイムアウト】

コンソール端末のリセットなどにより正常にソケットが切断されないなどの場合に、設定したタイムアウト時間でソケットを強制切断します。

【オートネゴシエーション】【速度】【全／半二重】

「SNMP ユニット」の管理用ポートに対する設定です。

オートネゴシエーションが有効になっているときは、他の設定項目で最高速度を制限することはありません。

【管理用ポートの自動初期化】

「SNMP ユニット」の管理用ポートに対する設定です。

リンクアップしていて、100 秒間、通信が行なわれない時に管理用ポートのみをリセットします。その場合、SNMP ユニット本体はリセットされません。また、トラップは送出せず、ログのみに履歴が残ります。

【MC ポートへのアクセス】

MC への読み込み、書込みに対する設定です。

無効に設定すると、MC への全ての機能が使用できなくなります。但し、「7. ソフトウェアリセット・設定の初期化」の「全ての設定をデフォルト値に戻す」を除きます。

MC を挿入時に無効にすると挿入時のノイズによる他の MC の誤動作を防げます。

【2. SNMPマネージャと認証の登録】

```

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**
SNMP マネージャと認証の登録
アクセス権限設定値(1-ReadOnly, 2-ReadWrite), トラップ受信設定値(0-受信不要, 1-受信)

1. コミュニティ [public ]
1. I P アドレス [172]. [20 ]. [1 ]. [1 ] アクセス権限 [2] トラップ受信 [1]

2. コミュニティ [administrator ]
2. I P アドレス [0 ]. [0 ]. [0 ]. [0 ] アクセス権限 [2] トラップ受信 [0]

3. コミュニティ [trap1 ]
3. I P アドレス [0 ]. [0 ]. [0 ]. [0 ] アクセス権限 [1] トラップ受信 [1]

4. コミュニティ [ ]
4. I P アドレス [0 ]. [0 ]. [0 ]. [0 ] アクセス権限 [1] トラップ受信 [0]

5. コミュニティ [ ]
5. I P アドレス [0 ]. [0 ]. [0 ]. [0 ] アクセス権限 [1] トラップ受信 [0]

SNMP マネージャへの arp 送出 (0-しない, 1-する) [0]

設定終了-'E', キャンセル-'C' [ ]
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'

```

画面 4 SNMPマネージャ登録

<設定画面説明>

SNMPマネージャはコミュニティ名との組み合わせで、最大5組まで登録できます。複数のコミュニティ名に対して同じIPアドレスを割り当てたり、同一コミュニティ名を複数登録し異なるIPアドレスを割り当てたりすることが出来ます。

＜設定項目説明＞

【コミュニティ名】 【IPアドレス】

SNMPコミュニティの名前とSNMPマネージャのIPアドレスの設定をします。

コミュニティ名は半角英数で64文字まで設定できます。

コミュニティ名を抹消するときは、スペース（空白）で上書きして「Enter」キーを押して下さい。

【アクセス権限】【トラップ受信】

登録したコミュニティの権利や権限の設定をします。

アクセス制限の欄は1を入力すると「ReadOnly」、2を入力すると「ReadWrite」になります。

「SNMP ユニット」がトラップを送出する時は、トラップ受信の欄が1に設定されたIPアドレスに対して、その設定のコミュニティ名を付加してトラップパケットを出します。

【SNMP マネージャへの arp 送出】

「SNMP ユニット」がトラップを送出する時、arp によるアドレス解決に要する時間を短縮する為に登録したSNMPマネージャへ定期的にarpを送出する機能の設定をします。

「1-する」に設定すると、コミュニティ、IP アドレスが登録され、トラップ受信設定が「1-受信」に設定されたマネージャに対して 1 分間隔で arp 要求を送出します。

SNMP マネージャの IP が異なるサブネットに設定されている場合はデフォルトゲートウェイに対して arp を送出します。

※ トラップが入れ替わる可能性があるので、0n にする事をお薦めします。

【3. プライベート MIB トラップの設定】

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
トラップ送出設定項目選択 項目を選んで、数字を入力してください。	
1. システム関連・電源やファン	h. MC ポート ポートセレクト設定
2. MC ポート 実装状態	i. MC ポート 不許可実装状態
3. MC ポート 光リンク状態	j. MC ポート LATCH 設定
4. MC ポート UTP リンク状態	k. MC ポート 光リンクの速度設定
5. MC ポート ハードSW 優先/無効設定	l. MC ポート 光リンク 1 状態
6. MC ポート SW モード状態	m. MC ポート 光リンク 2 状態
7. MC ポート 速度状態	
8. MC ポート モード状態	n. 設定終了
9. MC ポート オートネゴ設定	
a. MC ポート LPT 設定	
b. MC ポート リピータ/ブリッジ設定	
c. MC ポート フローコントロール設定	
d. MC ポート PRIMARY リンク状態	
e. MC ポート MAIN リンク状態	
f. MC ポート SECONDARY リンク状態	
g. MC ポート 接続ポート選択設定	
メニューへ戻る 'Esc'	

画面 5 トラップ送出設定項目選択

<設定画面説明>

状態変化が発生したときのトラップの送出設定をします。合計で22の設定画面があります。設定したいトラップ項目に該当するキーを入力すると設定ページへ移動し、「ESC」を押すと設定を保存せずにメニュー画面へ戻ります。

この画面、もしくは各トラップ設定ページの最下行で「設定終了」を選んだ場合、設定値の保存を行います。

※各トラップ設定ページで設定を変更しても、「設定終了」を選択して設定値を保存しないと、入力した値が反映されませんのでご注意ください。

※ハードSW無効の場合を除き、実装状態変化時に設定変化トラップは送出されませんので、ご注意ください。

SNMP ユニット		ユーティリティ	V*. **
システム関連・電源やファンのトラップ設定			1/22
(0-非送出, 1-送出)			
SNMP マネージャ登録内容の変更			[0]
SNMP エージェント再起動			[0]
ログイン認証失敗			[0]
ログインパスワードの変更			[0]
IP アドレスの変更			[0]
サブネットマスクの変更			[0]
デフォルトゲートウェイの変更			[0]
電源 1 故障	(0-非送出, 1-復帰時, 2-異常時, 3-変化時)		[0]
電源 2 故障	(0-非送出, 1-復帰時, 2-異常時, 3-変化時)		[0]
ファン 1 故障	(0-非送出, 1-復帰時, 2-異常時, 3-変化時)		[0]
ファン 2 故障	(0-非送出, 1-復帰時, 2-異常時, 3-変化時)		[0]
設定終了 'E', トラップ項目選択へ戻る 'B', 次頁 'N'			[]
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'			

画面 6 プライベートトラップ設定

<設定画面説明>

「SNMP ユニット」のシステム関連・電源やファンのトラップ送出設定をします。

「ESC」を押すとカーソルが最下行へ移動します。

最下行の[]内で「設定終了」を選んだ場合、設定値の保存を行います。また、「b」を入力すると「トラップ送出設定項目選択（画面 5）」へ、「n」を入力すると次の画面（画面 7）へ移動します。

※別の画面へ移動しても、メインメニューに戻るまでこの画面の設定は保持されますが、ページの最下行で「設定終了」を選ぶか、「画面 5 トラップ送出設定項目選択」で「n. 設定終了」を選択して設定値を保存しないと、入力した値が反映されませんのでご注意下さい。

<設定項目説明>

【SNMP マネージャ登録内容の変更】

【2. SNMP マネージャと認証の登録】で内容を変更した場合です。

【SNMP エージェント再起動】

「SNMP ユニット」がリセットされた場合です。

【ログイン認証失敗】

コンソール接続時に、3 回連続してパスワードが一致しない場合です。

【ログインパスワードの変更】【IP アドレスの変更】

【サブネットマスクの変更】【デフォルトゲートウェイの変更】

【1. 管理用ポートのパラメータ設定】で、それぞれの設定を変更した場合です。

【電源 1 故障】【電源 2 故障】

電源が停止または復帰した場合です。

トラップが送出される条件として、故障発生時、復旧時、及び、その両方を選ぶことができます。

※電源ユニットはそれぞれ**本体正面から見て**、

電源 1 →電源ユニット左側 (LED 表示(L)側)

電源 2 →電源ユニット右側 (LED 表示(R)側)

を指します。配置につきましては「1. 各部名称」をご参照下さい。

【ファン 1 故障】【ファン 2 故障】

空冷ファンの回転が停止または復帰した場合です。

トラップが送出される条件として、故障発生時、復旧時、及び、その両方を選ぶことができます。

※空冷ファンはそれぞれ**本体正面から見て**、

ファン 1 →左側ファン

ファン 2 →右側ファン

を指します。配置につきましては「1. 各部名称」をご参照下さい。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 実装状態変化 2/22	
(0-非送出, 1-装着時送出, 2-取り外し時送出, 3-変化時送出) ALL []	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+-----+-----+-----+-----+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 7 MC実装状態変化

<設定項目説明>

「SNMP ユニット」のMC実装状態変化時のトラップ送出設定をします。

「SNMP ユニット」では、ポートに MC モジュールが装着されているかどうかを監視しており、トラップが送出される条件として装着時、取外し時、及び、その両方を選ぶことができます。

以降の操作は画面 7～画面 26 の設定画面で同一です。

全ポートを同一の設定にするには、最上行の[]内に該当する番号を入力して下さい。ポート毎の行に表示している設定値が変わります。

ポート毎に設定を変更する場合は、「Enter」キーか「Tab」キーでポート番号を表示している行へカーソルを移動させて入力して下さい。

「ESC」キーを押すとカーソルが最下行へ移動し、最下行の入力で別の画面へ移動できます。

最下行で「設定終了」を選んだ場合、設定保存画面へ進みますので設定値の保存、破棄の選択を行って下さい。

光リンク 2 状態（画面 27）では、最下行に「次頁」の入力はありませんので「設定終了」で設定保存画面へ進んで下さい。

※別の画面へ移動しても、メインメニューに戻るまでこの画面の設定は保持されますが、ページの最下行で「設定終了」を選ぶか、「画面 5 トラップ送出設定項目選択」で「n. 設定終了」を選択して設定値を保存しないと、入力した値が反映されませんのでご注意下さい。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 光リンク状態変化 3/22	
(0-非送出, 1-UP時送出, 2-DOWN時送出, 3-変化時送出) ALL []	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 8 光リンク変化

MC の光ポートリンク状態変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 UTPリンク状態変化 4/22	
(0-非送出, 1-UP時送出, 2-DOWN時送出, 3-変化時送出) ALL []	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 9 UTPリンク変化

MC のUTP ポートリンク状態変化時のトラップ送出設定をします。

※光ポート/UTP ポートリンク状態変化トラップは、MC の実装と同時にリンクアップした場合、トラップ送出設定に関わらずトラップが送出されないことがありますのでご注意ください。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 ハードSW優先/無効変化 5/22	
(0-非送出, 1-優先時送出, 2-無効時送出, 3-変化時送出) ALL[]	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 10 ハードSW 優先/無効変化

MC のハード SW 優先/無効変化時のトラップ送出設定をします。
 コンソールからの設定でハード SW を優先とした時、および無効としたときに発生します

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 SWモード状態変化 6/22	
(0-非送出, 1-変化時送出) ALL[]	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 11 SWモード状態変化

MC の SW モード状態変化時のトラップ送出設定をします。
 SW モードについては【4. メディアコンバータ設定】(P26)を参照してください。
 以降のトラップ項目は SW 設定がハード SW 優先に設定されていなければ、MC のモード SW を切替えても設定が変わらず、トラップは発生しません。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 速度状態変化	7/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 1 2 速度状態変化

MC の UTP 速度変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 通信モード状態変化	8/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 1 3 通信モード状態変化

MC の UTP Duplex モード変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 オートネゴ設定変化	9/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 14 オートネゴシエーション設定変化

MC の UTP オートネゴシエーション設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 LPT設定変化	10/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 15 LPT 設定変化

MC の LPT 設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 リピータ/ブリッジ設定変化 11/22	
(0-非送出, 1-変化時送出) ALL[]	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 16 リピータ/ブリッジ設定変化

MC のリピータ/ブリッジ設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 フローコントロール設定変化 12/22	
(0-非送出, 1-変化時送出) ALL[]	
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 17 フローコントロール設定変化

MC のフローコントロール設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 PRIMARYリンク変化	13/22
(0-非送出, 1-優先時送出, 2-無効時送出, 3-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 18 PRIMARY リンク変化

2 ポートセクタの Primary ポートリンク状態変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 MAINリンク変化	14/22
(0-非送出, 1-優先時送出, 2-無効時送出, 3-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 19 MAIN リンク変化

2 ポートセクタの Main ポートリンク状態変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 SECONDARYリンク変化	15/22
(0-非送出, 1-優先時送出, 2-無効時送出, 3-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 20 SECONDARY リンク変化

2 ポートセクタの Secondary ポートリンク状態変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC部 接続ポート選択変化	16/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL[]
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 21 接続ポート選択変化

2 ポートセクタの接続ポート選択設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 ポートセレクト設定変化	17/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL []
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 22 ポートセレクト設定変化

2 ポートセクタのポートセレクト設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*.**	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 不許可実装状態	18/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL []
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P' []	
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 23 不許可実装状態

2 ポートセクタの不許可実装状態時のトラップ送出設定をします。
(P 3 4 の 4800、5810、6800、6810 をご使用の方へ参照)

SNMP ユニット ユーティリティ V*. **	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 LATCH設定状態	19/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL []
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 2 4 LATCH 設定変化

2 ポートセクタの Latch 機能設定変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V4.00	
プライベートトラップ送出設定 MC 部 光リンク速度状態変化	20/22
(0-非送出, 1-変化時送出)	ALL []
ポート 01	[0]
ポート 02	[0]
ポート 03	[0]
ポート 04	[0]
ポート 05	[0]
ポート 06	[0]
ポート 07	[0]
ポート 08	[0]
ポート 09	[0]
ポート 10	[0]
ポート 11	[0]
ポート 12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 2 5 光リンク速度状態

MC の OPT 速度変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V*. **	
プライベートトラップ送出設定 MC部 光リンク 1 状態変化	21/22
(0-非送出, 1-UP時送出, 2-DOWN時送出, 3-変化時送出)	ALL []
ポート01	[0]
ポート02	[0]
ポート03	[0]
ポート04	[0]
ポート05	[0]
ポート06	[0]
ポート07	[0]
ポート08	[0]
ポート09	[0]
ポート10	[0]
ポート11	[0]
ポート12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 次頁-'N', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 26 光リンク 1 変化

モードコンバータの光ポートリンク 1 状態変化時のトラップ送出設定をします。

SNMP ユニット ユーティリティ V4.00	
プライベートトラップ送出設定 MC部 光リンク 2 状態変化	22/22
(0-非送出, 1-UP時送出, 2-DOWN時送出, 3-変化時送出)	ALL []
ポート 01	[0]
ポート 02	[0]
ポート 03	[0]
ポート 04	[0]
ポート 05	[0]
ポート 06	[0]
ポート 07	[0]
ポート 08	[0]
ポート 09	[0]
ポート 10	[0]
ポート 11	[0]
ポート 12	[0]
設定終了-'E', トラップ項目選択へ戻る-'B', 前頁-'P'	[]
+-----+	
ポート 1 ポート 3 ポート 5 ポート 7 ポート 9 ポート 11	
ポート 2 ポート 4 ポート 6 ポート 8 ポート 10 ポート 12	
+-----+	
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'	

画面 27 光リンク 2 状態

モードコンバータの光ポートリンク 2 状態変化時のトラップ送出設定をします。

※光ポート/UTP ポートリンク状態変化トラップは、MC の実装と同時にリンクアップした場合、トラップ送出設定に関わらずトラップが送出されないのでご注意ください。

【4. ポート名・メディアコンバータ設定】

SNMP ユニット ユーティリティ V*,**	
MCポート設定項目選択 項目を選んで、数字を入力してください。	
1. MCポート名の設定	
2. MCスイッチの設定	
メニューへ戻る 'Esc'	

画面 28 SW 設定サブメニュー

ポート名・メディアコンバータ SW 設定では更にサブメニューを表示します。

[1. MC ポート名の設定]

MC ポート名の設定画面（画面 29）へ移動します。

[2. MC スwitchの設定]

MC スwitchの設定画面（画面 30）へ移動します。

SNMP ユニット ユーティリティ V*,**			
MCポート名の設定			
ポート名を入力してください ポート名は半角英数16文字以下です			
PORT	機種	Ver	ポート名
1	2800	D	[]
2	1800	A	[]
3	5800	A	[]
4	4800	A	[]
5	5810	A	[]
6	6800	A	[]
7	6810	A	[]
8	-----	-	[]
9	-----	-	[]
10	-----	-	[]
11	-----	-	[]
12	-----	-	[]
終了-'E', キャンセル-'C'			[]
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'			

画面 29 MC ポート名設定

<設定画面説明>

ポートを識別する為の名称を半角英数 16 文字以内で設定します。

ポート名を抹消するときは、スペースで上書きして「Enter」を入力して下さい。

ここで設定したポート名は【5. ポート・電源・ファン状態の表示】で表示されるのみで、SNMP マネージャなどから参照することはできません

SNMP ユニット		ユーティリティ	V*.**
メディアコンバータ設定			
ハードSW優先欄に'0-無効'を入力するとMCスイッチの設定が変更できます (0-無効, 1-有効)			
PORT	機種	Ver	設定
1	2800	D	SW優先[0], LPT[1], Auto[0]
2	1800	A	SW優先[0], LPT[0], Auto[0]
3	5800	A	SW優先[0], LPT[0], Rep[0], Auto[1], 100M[-], Ful[-], Pau[1]
4	4800	A	SW優先[0], Auto[1], 1G [-], 100M[-], port[1], lat[0]
5	5810	A	SW優先[0], LPT[0], OAut[0], TAut[1], 1G[-], 100M[-], Ful[-]
6	6800	A	SW優先[0], OC-3[1]
7	6810	A	SW優先[0], GbE[1]
8	-----	-	
9	-----	-	
10	-----	-	
11	-----	-	
12	-----	-	
終了-'E', キャンセル-'C'			[]
欄の移動 'TAB' or 'Enter', 入力後 'Enter', 取消 'Esc', 最下行へ 'Esc'			

画面 30 SWモード設定

<設定画面説明>

メディアコンバータの設定を行います。

SNMP ユニットから設定変更する場合は「ハード SW 優先」欄に'0-無効'を入力すると設定項目が表示されます。表示される設定項目は以下の10項目です。

【LPT】

Link Pass Through (リンク連動機能) の有効/無効を設定します。

(0-無効, 1-有効)

【Rep】

リピータ/ブリッジモードの設定をします。

(0-ブリッジモード, 1-リピータモード)

【Auto】または【TAut】

UTP のオートネゴシエーション有効/無効を設定します。

(0-速度固定, 1-オートネゴシエーション有効)

【1G】

UTP 速度固定時の回線速度の設定をします。

(0-1G 以下, 1-1G)

【100M】

UTP 速度固定時の回線速度の設定をします。

(0-10M, 1-100M)

【Ful】

UTP 速度固定時の Duplex モードの設定をします。

(0-半二重, 1-全二重)

【Pau】

フローコントロールの有効/無効を設定します。

(0-無効, 1-有効)

【port】

2ポートセレクタの接続ポートの選択を自動/固定に設定する。

(0-固定, 1-自動)

【lat】

2ポートセレクタのLatch機能の有効/無効を設定します。

(0-無効, 1-有効)

【pri】

固定の接続ポートを選択する。

(0-Secondaryポート, 1-Primaryポート)

【0Aut】

OPTのオートネゴシエーション有効/無効を設定します。

(0-1G固定, 1-オートネゴシエーション有効)

【0C-3】

モードコンバータの回線速度を設定します。

(0-FastEthernet, 1-0C-3)

【GbE】

モードコンバータの回線速度を設定します。

(0-FibreChannel, 1-GigabitEthernet)

設定項目の詳細については各メディアコンバータの取扱説明書を参照してください。

また、新機種で機種名が表示されない場合があります。その場合は、SNMPユニットからの設定ができません。SNMPユニットのファームウェアを最新バージョンにアップデートして下さい。

【 5. ポート・電源・ファン状態の表示】

SNMPユニット MCポート・管理ポート・電源・ファン状態									
<MCポート状態>			UTP	OPT1	OPT2				
			(Pri	Main	Sec)	Hard			
機 種	Ver	ポート名	Link	Link	Link	速度	SW	SWモード	
1 2800	D[2800WS]DOWN	DOWN	----	----	Ena	Auto, LPT	OFF
2 1800	A[]DOWN	DOWN	----	----	Ena	Auto, LPT	OFF
3 5800	A[]DOWN	DOWN	----	----	Ena	Auto, LPT	OFF, Pau ON ,Bri
4 4800	A[]DOWN	DOWN	DOWN	----	Ena	Auto, Auto ---	Latch off
5 5810	A[]DOWN	DOWN	----	----	Ena	TAuto, Opt1G, LPT	OFF
6 6800	A[]----	DOWN	DOWN	OC-3	Ena	S/G	
7 6810	A[]----	DOWN	DOWN	GbE	Ena	WL5/G	
8 -----	-[]						
9 -----	-[]						
10 -----	-[]						
11 -----	-[]						
12 -----	-[]						
<管理ポート状態>									
MACアドレス 00:03:3C:00:00:00			LinkDown						
<電源・ファン状態>									
正面位置(ユニット番号)			左側(1)	右側(2)					
電源状態			Up	Down					
ファン状態			UpLow	UpLow					
何かキーを押してください。									

画面 3 1 ポート状態表示

<MC ポート状態>

MC が装着されている場合は、ポートの状態を一覧で表示します。

【機種】【Ver】

機種名とバージョンが表示されます。

【ポート名】

【 4. メディアコンバータ設定】で設定したポート名が表示されます。

(2800、1800、5800、5810 の場合)

【OPT1 Link】

光ポートのリンク状態を以下の 3 つの状態を表示します。

(UP / DOWN / FEF:対向の FEF 信号を感知した場合)

※ FEF を表示するのは、1800 のみ

【UTP Link】

UTP ポートのリンク状態を以下の 3 つの状態を表示します。

(UP / DOWN / RF:LPT 有効時に光リンク断かつ、

UTP 側でオートネゴシエーション信号を受信している場合)

※ RF を表示するのは、1800 のみ

(4800 の場合)

【Pri Link】

Primary ポートのリンク状態を UP / DOWN の 2 つの状態を表示します。

【Main Link】

Main ポートのリンク状態を UP / DOWN の 2 つの状態を表示します。

【Sec Link】

Secondary ポートのリンク状態を UP / DOWN の 2 つの状態を表示します。

(6800、6810 の場合)

【OPT1 Link】

光ポート 1 のリンク状態を UP / DOWN の 2 つの状態を表示します。

【OPT2 Link】

光ポート 2 のリンク状態を UP / DOWN の 2 つの状態を表示します。

【速度】

UTP ポートの速度/モードを表示します。

速度 (10 : 10M / 100:100M / 1G:1G / OC-3:OC-3 / FE:FastEthernet /
GbE:GigabitEthernet / FC:FibreChannel) モード (H:半二重 / F:全二重)

※ 4800、6800、6810 には、全二重、半二重の区別がないので、モードは省略。

【Hard SW】

ハード SW の有効/無効を表示します。

(Dis : SNMP ユニットからの設定が有効な状態 / Ena:MC 側のスイッチが有効な状態)

【SW モード】

MC のスイッチ設定状態を表示します。左から順に以下の設定項目を表示します。

①速度/モード (Auto:オートネゴシエーション/ 10H:10M 半二重 / 10F:10M 全二重
/ 100H:100M 半二重 / 100F:100M 全二重 / 1Gf:1G 全二重)

※ 4800 には、全二重、半二重の区別がないので省略。

②LPT (LPT OFF:LPT 無効 / LPT ON:LPT 有効)

③フローコントロール設定 (Pau OFF:無効 / Pau ON:有効)

④リピータ/ブリッジ設定 (Rep:リピータモード / Bri:ブリッジモード)

⑤ポートセレクト設定 (Auto:自動セレクト / Fix:固定)

⑥接続ポート設定 (Pri:Primary ポート選択/ Sec:Secondary ポート選択
/ ---:どちらのポートも選択していない)

⑦Latch 設定 (Latch on:有効 / Latch off:無効)

※ ⑤、⑥、⑦は 4800 独自の機能

⑧光リンクの速度設定 (OPT1G : 1G / 0Auto:オートネゴシエーション)

※ ⑧は 5810 独自の機能

なお、6800 と 6810 の SW モードは、光トランシーバの機種を表示しています。

ファームウェアが対応していない新機種の場合は機種名が数値で表示され、SWモードは表示されません。

例)

ポート	機種	Ver	UTPLink	光Link	ハードSW	SWモード
1	不明:02	A	UP	UP	有効	不明

<管理ポート状態>

SNMP ユニットの MAC アドレス、リンク状態、速度/モードを表示します。

<電源・ファン状態>

電源・ファン状態表示では、電源ユニットやファンの状態を一覧で表示します。

電源・ファンの位置表示とトラップ設定時の表示の相関関係は表 3-4 のようになっています。

表 3-4 トラップ設定画面表示との関係

種別	正面から見た位置	
	左側	右側
電源	電源 1	電源 2
ファン	ファン 1	ファン 2

【6. 履歴情報の出力】

<p style="text-align: center;">SNMP ユニット ユーティリティ V*. **</p> <p style="text-align: center;">履歴情報出力モード</p> <p>起動してからの履歴を出力します。 出力するモードを選択してください</p> <ol style="list-style-type: none">1. 全ログをSNMPのトラップとして出力2. 送出済み項目をSNMPのトラップとして出力3. 未送出項目をSNMPのトラップとして出力4. ページ毎に画面に表示5. 連続して画面に表示6. リセットログを表示9. 範囲を指定してログを削除0. 全てのログを削除 <p>'リターンのみ' か 'Esc' でメニューへ戻る</p>
--

画面 32 履歴情報出力サブメニュー

履歴情報出力では更にサブメニューを表示します。

[1. 全ログをSNMPのトラップとして出力]

「SNMP ユニット」が起動または再起動してから、最大 1000 件の状態変化履歴をトラップ受信に設定されたSNMPマネージャに対して送ります

[2. 送出済み項目をSNMPのトラップとして出力]

「SNMP ユニット」が起動または再起動してからの状態変化履歴のうち、トラップ送出済みの履歴を再度SNMPマネージャに送ります。

事象発生時からトラップ出力条件を変更して、トラップを送出しない設定に変わった履歴でも、事象発生時にトラップを送出したものは送出済み項目となります。

[3. 未送出項目をSNMPのトラップとして出力]

「SNMP ユニット」が起動または再起動してからの状態変化履歴のうち、トラップ送出条件に一致しなかった履歴をSNMPマネージャに送ります。

事象発生時からトラップ出力条件を変更してトラップ送出する設定に変わった履歴でも、事象発生時にトラップを送出していないものは未送出項目となります。

[4. ページ毎に画面に表示]

全ての状態変化履歴をコンソール画面に表示します。

ページ毎の表示では、1 画面（20 件）表示する毎に「N」キーを押して次の項目を表示させて下さい。また、「P」キーを押して前の項目を表示させることもできます。

最終ページで「E」キーを押すと、メインメニュー画面（画面2）に戻ります。

[5. 連続して画面に表示]

連続表示では画面がスクロールします。

キーを押すと、メインメニュー画面（画面2）に戻ります。

項番	発生時間	内容	Port/Unit	トラップ
0001	00:12:00.60	光 Link ダウン	03	送出
0002	00:12:02.30	光 Link アップ	03	非送出

何かキーを押すとメニューに戻ります

画面 3 3 履歴表示

[6. リセットログを表示]

電源が切れた原因についてのログを表示、または削除します。
リセットログ情報出力画面（画面 3 4）を表示します。

リセットログ情報出力モード
<p>起動してからの履歴を出力します。 出力するモードを選択してください</p> <p>1. ページ毎に画面に表示</p> <p>2. 連続して画面に表示</p> <p>0. 全てのログを削除</p> <p>出力するモードを選択してください（リターンのみでメニューへ戻る）</p>

画面 3 4 リセットログ情報出力画面

【1. ページ毎に表示】

ページ毎の表示では、1 画面（20 件）表示する毎にキーを押して、次の項目を表示させて下さい。

最終ページで「E」キーを押すと、メインメニュー画面（画面 2）に戻ります。

【2. 連続して画面に表示】

連続表示では画面がスクロールします。

キーを押すと、メインメニュー画面（画面 2）に戻ります。

【3. 全てのログを削除】

リセットログを消去します。

[9. 範囲を指定してログを削除]

履歴の画面表示で表示する「項番」を指定して、履歴の一部を削除します。

履歴情報はリングバッファに蓄積しており 1 件毎に歯抜けにすることが出来ないため、先頭から指定項番までを削除するか、指定項番から最後までを削除するかどうかしか

できません。

なお一度削除した履歴は元へ戻せませんので、削除する際はご注意ください。

[0. 全てのログを削除]

全ての履歴を消去します。

※保存される履歴は「SNMP ユニット」が起動または再起動してから発生した状態の変化です。
最大 1000 件が保存され、1000 件を超える場合は古い順に上書きされます。
なお通常の履歴の保存は RAM 上に行われますので、停電やリセットで消去されます。
リセットログは停電やリセットで消去されません。

※SNMPはUDP上のプロトコルなのでトラップは順序が入れ替わる、または消失する可能性があります。確実に最新の状態を把握したい場合には、定期的にMIBを読み込むか、ログをご確認下さい。

【7. ソフトウェアリセット・設定の初期化】

<p>ソフトウェアリセット・設定初期化モード</p> <p>リセット及び初期化範囲を選択してください。(リターンのみか Esc でメニューへ戻る)</p> <ol style="list-style-type: none">1. ソフトウェアリセットを実行する2. MC の設定のみデフォルト (ハード SW 優先) に戻す3. 全ての設定をデフォルト値に戻す <p>'リターンのみ' か 'Esc' でメニューへ戻る</p>

画面 35 ソフトウェアリセット・設定の初期化

ソフトウェアリセット及び初期化の項目を選択して「Enter」キーを押して下さい。
その後、確認のメッセージが表示されますのでメッセージに沿って操作して下さい。

[1. ソフトウェアリセットを実行する]

「**SNMP ユニット**」を再起動します。この場合、ログは消去されますが設定は全て保存されています。

[2. MC の設定のみデフォルト (ハード SW 優先) に戻す]

「**SNMP ユニット**」の全てのポートの MC をハード SW 優先に戻した後、再起動します。この場合、ログは消去されますが MC 設定以外は初期化されません。

[3. 全ての設定をデフォルト値に戻す]

「**SNMP ユニット**」の設定を工場出荷時に戻し、全てのポートの MC をハード SW 優先に戻した後、再起動します。

【初期化メニュー】

SNMP ユニット ユーティリティ V*,**	
モード選択	項目を選んで、数字を入力してください。
1.	-----
2.	-----
3.	-----
4.	-----
5.	-----
6.	-----
7.	ソフトウェアリセット・設定の初期化
8.	接続終了

画面 36 初期化メニュー

<設定画面説明>

初期化パスワードでログインすると、上記の初期化メニュー画面が表示されます。
初期化メニュー画面では「7. ソフトウェアリセット・設定の初期化」以外は選択できません。「Enter」キーを押す必要はありません。

「7」を選択するとソフトウェアリセット・設定の初期化画面（画面35）へ移動しますのでメッセージに沿って初期化を行ってください。

「8」を選択するとコンソール操作を終了します。

4. ファームウェアのアップデート

「SNMPユニット」はTFTPサーバを実装しており、ファイルの送受信を行うことでファームウェアのアップデートを行うことができます。以下にその方法を示します。

- (1) ファイル送受信の機材として「SNMPユニット」の他に、LAN(Ethernet)インターフェースを装着し、TFTPソフトウェア(3CServerなど)がインストールされたPCをご用意下さい。
- (2) 弊社が支給するアップデートプログラム(ファイル名「DNHD12.S」もしくは「dnhd12.s」)をTFTPクライアントがインストールされたPCにコピーします。
- (3) TFTPクライアントが実装されたPCと「SNMPユニット」がTCP/IP経由で通信可能であることを確認します。
- (4) TFTPクライアント側から先程のファームウェアのファイルを選択し、バイナリ転送モードでファイルPut要求をします。

TFTPクライアントの操作方法是そのアプリケーションのマニュアルをお読みください。

※注意

Ver2.01以前のファームウェアから、Ver3.02以降のファームウェアにアップデートされる際には、必ず弊社のウェブサイト上にあるVer3.01(アップデート版)に一度アップデートしてから、Ver3.02以降のバージョンにアップデートしてください。

5. 4800、5810、6800、6810をご使用の方へ

- ・旧式のファンを搭載している(DN-HD12)場合の4800、5810、6800、6810の搭載箇所は上段のみです。また、上段にこれらが搭載されている場合は下段には当社の他製品は搭載できません。
- ・新型のファンを搭載している(DNHD12E)場合は、全てのポートに搭載可能です。

※DNHD12Eおよび各MCの取扱説明書もご確認下さい。

6. 資料

(1) 対応する標準MIBの一覧

R F C	グループ	備考
RFC-1213 MIB- II	system	管理用ポートのみ対応
	interface	
	ip	
	icmp	
	tcp	
	udp	
	snmp	
RFC-2819	rmon.statistics	

(2) 対応するプライベートMIBの一覧

*は1～12ポート分あります。+は1～2の範囲分あります。

名称	Type/Index	O I D	属性	説明
MngNumber	INTEGER	daiden_MC.1.1.1	R0	登録されているSNMPマネージャの数
PassChgSts	INTEGER	daiden_MC.1.1.5	R/W	パスワードの変更有無 (0=なし, 1=あり)
IpChgSts	INTEGER	daiden_MC.1.1.6	R/W	I Pアドレスの変更有無 (0=なし, 1=あり)
subMskChgSts	INTEGER	daiden_MC.1.1.7	R/W	サブネットマスクの変更有無 (0=なし, 1=あり)
GwayChgSts	INTEGER	daiden_MC.1.1.8	R/W	デフォルトゲートウェイの変更有無 (0=なし, 1=あり)
MngChgTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.1	R/W	SNMPマネージャ登録変更
warmStartTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.2	R/W	SNMPエージェント再起動
LoginFailTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.3	R/W	ログイン認証失敗 (3回失敗)
PassChgTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.5	R/W	パスワード変更
IpChgTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.6	R/W	I Pアドレス変更
subMskChgTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.7	R/W	サブネットマスク変更
GwayChgTrp	INTEGER	daiden_MC.2.1.8	R/W	デフォルトゲートウェイ変更
powUntNumber	INTEGER	daiden_MC.3.1	R0	電源ユニットの最大実装数
PowUntIdx	INTEGER	daiden_MC.3.2.1.1. +	R0	電源ユニットの番号
PowUntSts	INTEGER	daiden_MC.3.2.1.2. +	R0	電源ユニットON/OFF (ON=1, OFF=2)
fanUntNumber	INTEGER	daiden_MC.3.3	R0	空冷ファンの最大実装数
FanUntIdx	INTEGER	daiden_MC.3.4.1.1. +	R0	空冷ファンの番号
FanUntSts	INTEGER	daiden_MC.3.4.1.2. +	R0	空冷ファンON/OFF (ON=1, OFF=2)
McNumber	INTEGER	daiden_MC.3.5	R0	MCの(最大)実装数
McIdx	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.1. *	R0	MCの番号
McSts	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.2. *	R0	MCの実装状況 (実装=1, 未実装=2)
McLinkFx	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.3. *	R0	光リンクUp/Down (Up=1, Down=2)
McLinkTx	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.4. *	R0	UTPリンクUp/Down (Up=1, Down=2)
Mctype	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.6. *	R0	機種 (未実装=0, 2800=1, 1800=2, 5800=4, 4800=11)
McVersion	INTEGER	daiden_MC.3.6.1.7.	R0	バージョン (A=1, B=2, . . . N=14, 未実装=15)

		*		
mcHardSwEnable	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 8. *	R/W	ハードSW優先/無効(優先=1, 無効=2, 不明=255) MCのスイッチを優先するか、管理モジュールからの設定を優先するか
McSwMode	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 9. *	R/W	SWモード(内容は機種依存) (優先=1)ならばスイッチの内容が入る (無効=2)ならば管理モジュールからの設定内容が入る
mcSpeed	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 10. .*	R/W	UTP速度状態 (100M=1, 10M=2, 1G=3, 不明=255)
mcDupMode	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 11. .*	R/W	伝送モード状態 (全二重=1, 半二重=2, 不明=255)
mcAuto	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 12. .*	R/W	オートネゴシエーション設定 (オート=1, 速度固定=2, 不明=255)
mcLpt	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 13. .*	R/W	LPT設定 (有効=1, 無効=2, 不明=255)
mcRep	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 14. .*	R/W	リピータ/ブリッジ設定 (リピータ=1, ブリッジ=2, 不明=255)
mcPau	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 15. .*	R/W	フローコントロール設定 (有効=1, 無効=2, 不明=255)
mcLinkPri	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 16. .*	R0	PrimayリンクUp/Dow n (Up=1, Dow n=2)
mcLinkMain	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 17. .*	R0	MainリンクUp/Dow n (Up=1, Dow n=2)
mcLinkSec	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 18. .*	R0	SecondaryリンクUp/Dow n (Up=1, Dow n=2)
mcPriorSec	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 19. .*	R/W	接続ポート選択設定 (Primary=1, Secondary=2, NoSelect=3, 不明=255)
mcPortSelect	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 20. .*	R/W	ポートセレクト設定 (自動選択=1, 固定=2, 不明=255)
Caution	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 21. .*	R0	4800不許可実装状態 (有効=1, 無効=2, 不明=255)
mcLatch	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 22. .*	R/W	Latch設定 (有効=1, 無効=2, 解除(NoSupport)=3, 不明=255)
mcOpt	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 23. .*	R/W	OPT速度設定 (有効=1, 無効=2, 解除(NoSupport)=3, 不明=255)
mcLinkFx1	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 24. .*	R0	光リンク 1 Up/Dow n (Up=1, Dow n=2)
mcLinkFx2	INTEGER	daiden_MC. 3. 6. 1. 25. .*	R0	光リンク 2 Up/Dow n (Up=1, Dow n=2)
PowUntTrap	INTEGER	daiden_MC. 4. 2. 1. 2. *	R/W	電源ユニット状態変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
FanUntTrap	INTEGER	daiden_MC. 4. 4. 1. 2. *	R/W	空冷ファン状態変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
McTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 2. *	R/W	MC部ポート実装状況変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcLinkFxTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 3. *	R/W	光リンクUp/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcLinkTxTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 4. *	R/W	UTPリンクUp/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcHardSwEnableTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 6. *	R/W	ハードSW優先/無効変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)

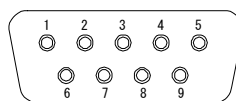
mcSwModeChgTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 7. *	R/W	SWモード変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcSpeedTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 8. *	R/W	MC U T P 速度状態変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcDupModeTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 9. *	R/W	MC 伝送モード変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcAutoTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 10 . *	R/W	MC オートネゴシエーション設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcLptTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 11 . *	R/W	MC LPT設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcRepTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 12 . *	R/W	MC リピータ/ブリッジ設定 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcPauTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 13 . *	R/W	MC フローコントロール設定 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcLinkPriTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 14 . *	R/W	PrimayリンクUp/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcLinkMainTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 15 . *	R/W	MainリンクUp/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcLinkSecTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 16 . *	R/W	SecondaryリンクUp/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcPriorSecTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 17 . *	R/W	MC 接続ポート選択設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcPortSelectTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 18 . *	R/W	MC ポートセレクト設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
CautionTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 19 . *	R/W	4800不許可実装状態 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcLatchTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 20 . *	R/W	Latch設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcOptTrp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 21 . *	R/W	O P T 速度設定変化 (送出禁止=0, 変化で送出=1)
mcLinkFx1Trp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 22 . *	R/W	光リンク 1 Up/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)
mcLinkFx2Trp	INTEGER	daiden_MC. 4. 6. 1. 23 . *	R/W	光リンク 2 Up/Dow n変化 (送出禁止=0, 正常への移行で送出=1, 異常への移行で送出=2, 変化で送出=3)

(3) Specific コード一覧

名称	code	追加情報	説明
eventSnmpStart	100	なし	SNMPエージェントの起動
eventLoginFail	101	なし	Telnetの認証失敗発生
eventPassChange	102	passChgSts	パスワードの変更発生
eventIPChage	103	ipChgSts	管理用ポートのIPアドレス変更発生
eventSubnetMaskChange	104	subMskChgSts	管理用ポートのサブネットマスク変更発生
eventGatewayChange	105	gwayChgSts	管理用ポートのデフォルトゲートウェイアドレス変更
eventManagerChange	107	mngNumber	SNMPマネージャ登録状態の変更
eventCenter-PowerON	108	powUntIdx	停止していた電源部がONに変化
eventCenter-PowerOFF	109	powUntIdx	電源部の1つがOFFに変化
eventCenter-FanON	110	fanUntIdx	停止していた空冷ファンがONに変化
eventCenter-FanOFF	111	fanUntIdx	空冷ファンの1つがOFFに変化
eventCenter-MCchange	112	mcIdx	MC部ポート実装状態が変化
eventCenter-FX-UP	113	mcIdx	光ポートがリンクアップ
eventCenter-FX-DOWN	114	mcIdx	光ポートがリンクダウン
eventCenter-TX-UP	115	mcIdx	UTPポートがリンクアップ
eventCenter-TX-DOWN	116	mcIdx	UTPポートがリンクダウン
eventSNMPlinkUP	127	なし	管理用ポートがリンクアップ
eventSNMPlinkDOWN	128	なし	管理用ポートがリンクダウン
eventCenter-HardSwEnable	138	mcIdx	ハードSW優先に変化
eventCenter-HardSwDisable	139	mcIdx	ハードSW無効に変化
eventCenter-SwModeChange	140	mcIdx	SWモードが変化
eventCenter-1G	144	mcIdx	UTPポートの速度が1G
eventCenter-100M	145	mcIdx	UTPポートの速度が100M
eventCenter-10M	146	mcIdx	UTPポートの速度が10M
eventCenter-FullDuplex	147	mcIdx	UTPポートの伝送モードが全二重
eventCenter-HalfDuplex	148	mcIdx	UTPポートの伝送モードが半二重
eventCenter-Auto	149	mcIdx	UTPポートの速度がオートネゴ設定
eventCenter-Fixed	150	mcIdx	UTPポートの速度が固定設定
eventCenter-LptON	151	mcIdx	LPT設定が有効
eventCenter-LptOFF	152	mcIdx	LPT設定が無効
eventCenter-Repeater	153	mcIdx	リピータモード
eventCenter-Bridge	154	mcIdx	ブリッジモード
eventCenter-FlowControlON	155	mcIdx	フローコントロール有効
eventCenter-FlowControlOFF	156	mcIdx	フローコントロール無効
eventCenter-mcLinkPriUP	157	mcIdx	Primaryポートリンクアップ
eventCenter-mcLinkPriDOWN	158	mcIdx	Primaryポートリンクダウン
eventCenter-mcLinkMainUP	159	mcIdx	Mainポートリンクアップ
eventCenter-mcLinkMainDOWN	160	mcIdx	Mainポートリンクダウン
eventCenter-mcLinkSecUP	161	mcIdx	Secondaryポートリンクアップ
eventCenter-mcLinkSecDOWN	162	mcIdx	secondaryポートリンクダウン
eventCenter-mcPrimary	163	mcIdx	Primaryポート選択
eventCenter-mcSecondary	164	mcIdx	Secondaryポート選択
eventCenter-mcAutoSelect	165	mcIdx	ポートセレクト 自動セレクト
eventCenter-mcFixSelect	166	mcIdx	ポートセレクト 固定
eventCenter_Ethinit	167	mcIdx	イーサコントローラ初期化

eventCenter-CautionON	168	mcIdx	不許可実装状態
eventCenter-CautionOFF	169	mcIdx	許可実装状態
eventCenter-mcNoSelect	170	mcIdx	優先ポート 未選択
eventCenter-mcLatchon	171	mcIdx	Latch設定 有効
eventCenter-mcLatchoff	172	mcIdx	Latch設定 無効
eventCenter-mcLatchnosupport	173	mcIdx	Latch設定 解除
eventCenter-mcOptAuto	174	mcIdx	OPTポートの速度がオートネゴ設定
eventCenter-mcOpt1G	175	mcIdx	OPTポートの速度が1G設定
eventCenter-mcFC	176	mcIdx	OPTポートの速度がFibreCannel設定
eventCenter-mcGbE	177	mcIdx	OPTポートの速度がGigabitEthernet設定
eventCenter-mcFE	178	mcIdx	OPTポートの速度がFastEthernet設定
eventCenter-mcOC-3	179	mcIdx	OPTポートの速度がOC-3設定
eventCenter-Fx1-Up	180	mcIdx	光ポート1 がリンクアップ
eventCenter-Fx1-Down	181	mcIdx	光ポート1 がリンクダウン
eventCenter-Fx2-Up	182	mcIdx	光ポート2 がリンクアップ
eventCenter-Fx2-Down	183	mcIdx	光ポート2 がリンクダウン

(4) シリアルポートのピン配列



ピン番号	方向	信号名
1	－	N. C.
2	入力	R X D (Recive Data)
3	出力	T X D (Transmit Data)
4	－	N. C.
5	－	G N D
6	－	N. C.
7	出力	R T S (Requet To Send)
8	入力	C T S (Clear To Send)
9	－	N. C.

(5) 出荷時の設定

管理用ポートのパラメータ設定

項 目	設定値	項 目	設定値
パスワード	test	オートネグネーション	有効
I P アドレス	172. 20. 1. 201	通信速度	100M
サブネットマスク	255. 255. 0. 0	Duplex モード	全二重
デフォルトゲートウェイ	172. 20. 1. 254	TCP タイムアウト時間	6 0 分

S N M P 認証設定

番号	コミュニティ名	I P アドレス	アクセス	トラップ受信
1	public	0. 0. 0. 0	Read Only	なし
2	administrator	0. 0. 0. 0	Read/Write	なし
3	trap1	0. 0. 0. 0	Read Only	あり
4		0. 0. 0. 0	Read Only	なし
5		0. 0. 0. 0	Read Only	なし

※1 トラップ送出設定は全て「非送出」です。

※2 メディアコンバータ設定は全て「ハードSW優先」です。

D&Y 大電株式会社

コールセンター(テクニカルサポート窓口) ☎ 0120-588-545 (携帯・PHS にも対応)

e-mail : d_media@dyden.co.jp

本社 : 〒830-8511 福岡県久留米市南2丁目15番1号

TEL (0942) 22-1111 【大代表】

東京支店 : 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-9 ツインビュー御茶ノ水3階

TEL (03) 5805-5880 【代表】

関西支店 : 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-7-28 住友ビルディング2号館1階

TEL (06) 6229-1881 【代表】

中国支店 : 〒730-0051 広島市中区大手町3-13-18 松村ビル4階

TEL (082) 241-5161 【代表】

九州支店 : 〒810-0001 福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル7階

TEL (092) 721-3281 【代表】

四国営業所 : 〒760-0019 高松市サポート2番1号サポートビジネススクエア20階

TEL (087) 821-7553 【代表】

沖縄営業所 : 〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル3階

TEL (098) 866-3324 【代表】